

第3回会議のご質問に対する回答(補足資料)

※再生可能エネルギーについての補足資料は「再生可能エネルギー追加資料」にて

需給調整契約の概要

(需要ピーク時期等に需要を抑制していただく契約)

	名称	契約の概要	対象期間
計画調整契約	夏季休日契約	休日の振替や新たな休日の設定などにより、1日単位で負荷を調整する	夏季
	夏季操業調整契約	生産設備の定検・補修などにより、連続3日以上で負荷を調整する	夏季
	ピーク時間調整契約	空調機器の一部停止などにより、月単位で負荷を調整する	夏季
	自家発電調整契約	自家発電設備を追加的に稼働することで電力需要を抑制する	夏季
随時調整契約	通告調整契約	電力需給逼迫時に、前日までの通告により、負荷を抑制する	通年
	緊急時調整契約	電力需給逼迫時に、3時間前までの通告により負荷を抑制する	通年
	瞬時調整契約	電力需給逼迫時に、1時間前までの通告などにより負荷を抑制する	通年

◆取組み背景

- ✓ **デマンドレスポンス**とは、**電力需要が電気料金単価に応じて変化する**こと(価格弾力性)を活用することで、需要家に対して**省エネや負荷移行などの行動変化を促す**仕組み
- ✓ 2000年以降、米国等の一部地域で先行して実施されている
- ✓ 日本と米国では、お客さまが使用される電気設備や電気の使われ方に違いがある

<米国と日本における家庭の電気事情の主な違い>

	米国	日本
消費電力※	約920kWh/月	約370kWh/月
電力消費削減が見込まれる家電	・セントラルエアコン ・プールのポンプ、ヒーター	? (高効率の家電機器)
エアコンの稼働状況	外出時や旅行中も稼働 (住宅不動産の劣化防止)	? (外出時は停止)

(※ 米国はDOE/EIAによる2009年値、日本は電気事業連合会 電力10社平均2009年値)

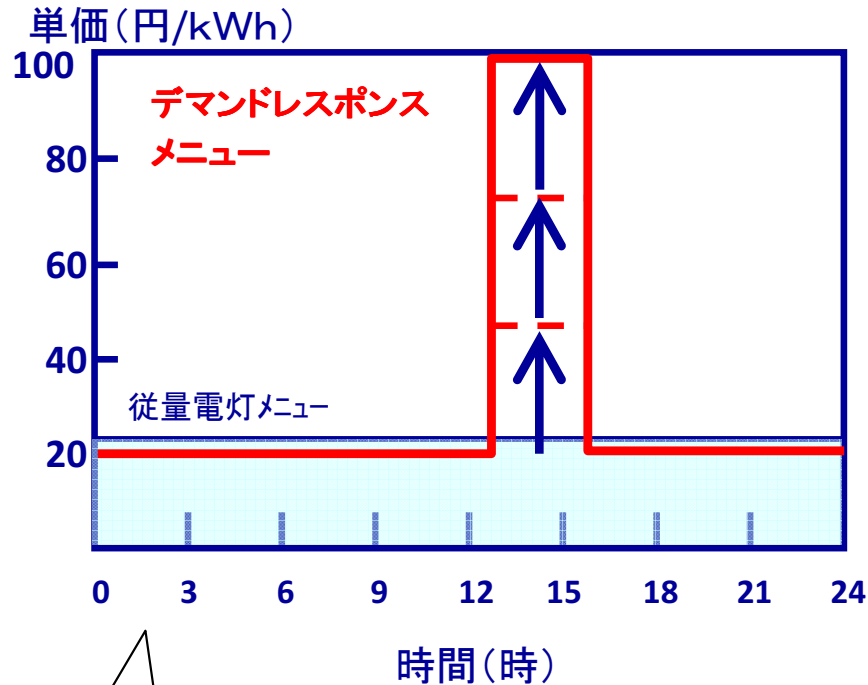
◆目的

- ✓ お客さまにとっての受け入れやすさ
- ✓ 電気料金単価の変化に対する反応
- ✓ 導入した際の電力消費削減の効果等の把握

- デマンドレスポンスメニューの検討
- 必要な装置やシステム構築に関する知見・ノウハウの取得

デマンドレスポンス実証試験のイメージ

◆デマンドレスポンスメニューのイメージ

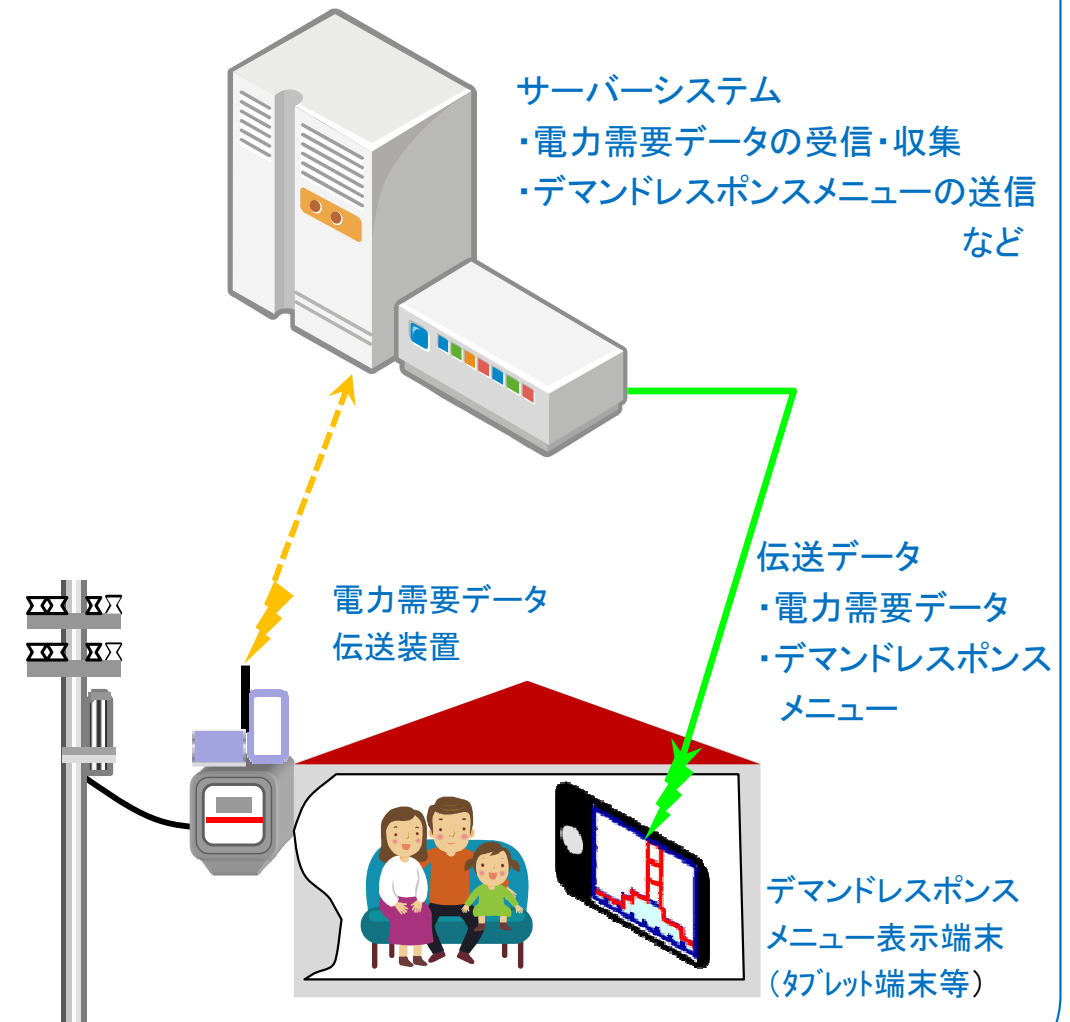


従量電灯メニューの場合

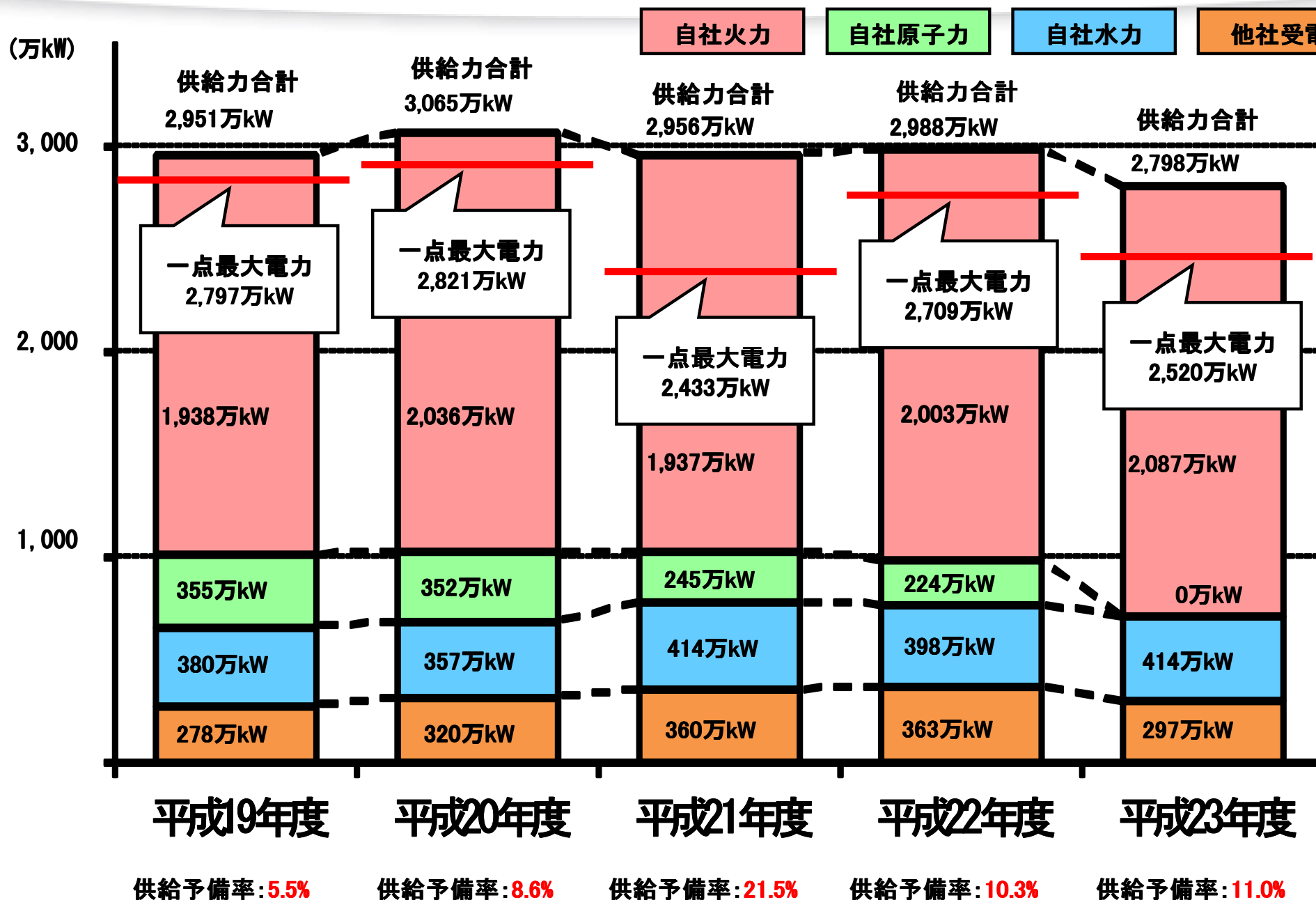
<デマンドレスポンスメニューの設定例>

需給逼迫が予想される時間帯（13時から16時）に高い電気料金を疑似的に設定

電力需要データ伝送・メニュー表示システムのイメージ



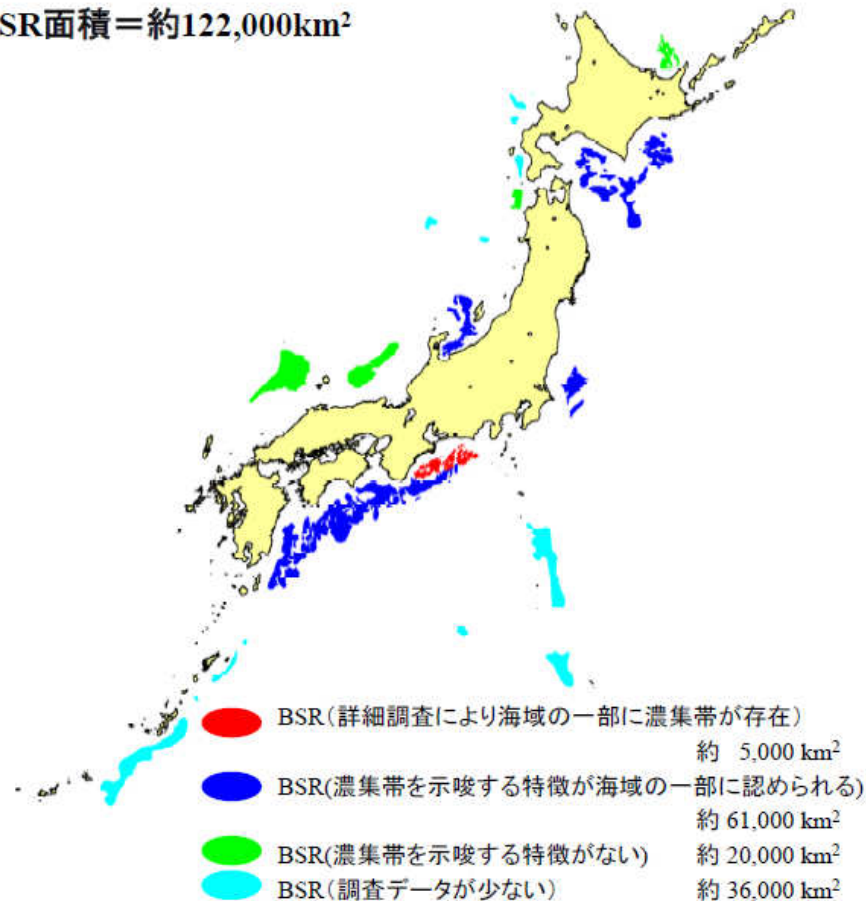
弊社の夏季需給実績



メタンハイドレートの開発状況

最新のBSR分布図(2009年)

BSR面積=約122,000km²



メタンハイドレートの調査は、音波を使った物理探査(反射法地震探査)により実施。この調査データからBSR(海岸模擬反射面)からメタンハイドレートの賦存量を想定。

- 2012年2月、メタンハイドレートから天然ガスを取り出す海洋産出試験に着手(世界初)。
- 作業地点は愛知県沖(第二渥美海丘)で、2012年2月中旬に試掘を開始し、2013年の1~3月の期間に産出試験(フローテスト)を予定・計画。
- 商業生産に向けた技術基盤の整備は、2016~2018年度に進められる予定。



作業予定期間	2012年(平成24年)2月~2013年(平成25年)8月頃
作業地点	愛知県沖(第二渥美海丘)
事業主	経済産業省
実施主体	石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)
使用船舶(事前掘削)	地球深部探査船「ちきゅう」(来年度は未定)